

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表: 令和4年7月1日

事業所名 ユースタイルラボ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1人あたり2.56㎡確保されている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童指導員2名及び指導員2名以上が常駐している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		指導訓練室はフラットな仕上げになっている。水回りは1段上がるものの10cm以上あり、躓くものではない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			各利用者の情報を出来るだけスタッフ間で共有するようにしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的に保護者向けのアンケート調査を行い情報を集約し全員にフィードバックしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開中
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			社会福祉士等による研修やミーティングを行い支援内容の改善に努めている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		コロナ禍において多人数での研修会は控えている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズ調査を行い子どもの状況に合わせた目標を設定し計画書を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		利用者毎に状況が違うため個別に設定している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			カンファレンス時に適宜立案を行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			タブレットを利用して、プログラミングや脳トレゲームを取り入れている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			通常は宿題、長期休みは提出課題というように内容が異なっている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別学習と集団でのゲーム等を時間配分している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日の利用者の特徴等を全員で把握し担当分けしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			利用者毎の状況を確認してスタッフ間で情報交換している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援内容を記録し次回に繋がる様にしている

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月毎にモニタリングを行い計画書を作成している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		学習(宿題)を中心に季節の作品づくりやゲーム等SSTを取り入れた活動をしている
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者が出席している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		必要に応じて学校での打合せを実施している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現状対象者がいません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		出来る限り情報を収集するようにしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		情報請求があれば対応出来るように資料を保管している
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	コロナ禍のため、研修は控えている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	障がいのない子どもとの交流機会は殆どありません 今後はイベント等機会をふやしていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	中央区地域自立支援協議会児童部会に加盟している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や電話連絡に加え必要に応じて面談を行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者からの問合せがあれば相談に応じるようにしている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明し事業所内に閲覧ファイルを備えている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談には適宜対応している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今後検討していきたい

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			管理者を中心に体制を整え即時対応出来る様にしている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			インスタ・ブログ等で活動内容を発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			各種重要書類の管理を徹底している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			毎回連絡表にて情報交換している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		事業所内での活動が多く今後検討していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			閲覧ファイルを備え付けている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回(9月・3月)避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			カンファレンスで実施している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現状対象者がいません
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食事・おやつ等の提供は行っていません
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ファイルを備え全員で確認している